

「懸垂下降中にスタックした人を下から救助に向かって解除後に一緒に降りる」という技術ですが、解り難いということで解説文を認めました。

これは、AGS-Jマニュアル3-3章「アルパインクライミング」の中で図解入りで解説しているものですのでマニュアルをお持ちの方は参照して下さい。

特に解らないと思われるのは、次の点です。

要救助者と救助者が固定長スリングを用いてカウンターで引き上げた後に、トラブルを解除しますが、その後にカウンター用の固定長スリングをどうして解除すること出来るのかという点だと思います。

これを解除するには、要救助者が落ちてこないように工夫する必要があります。それには要救助者に下降器を再連結した後に、救助者が下降器の下側ロープに立ち込んで、要救助者が落ちないように工夫してカウンタースリングを外します。

ということですが、そのページを付けておきますのでご理解ください。

これでお分かりですね。

まだ、解らない方は、AGS-Jの講習会でご理解していただくことが宜しいでしょう。

(文責、遭対 勝野)

■ラッペル中にスタックした人を下から救助する

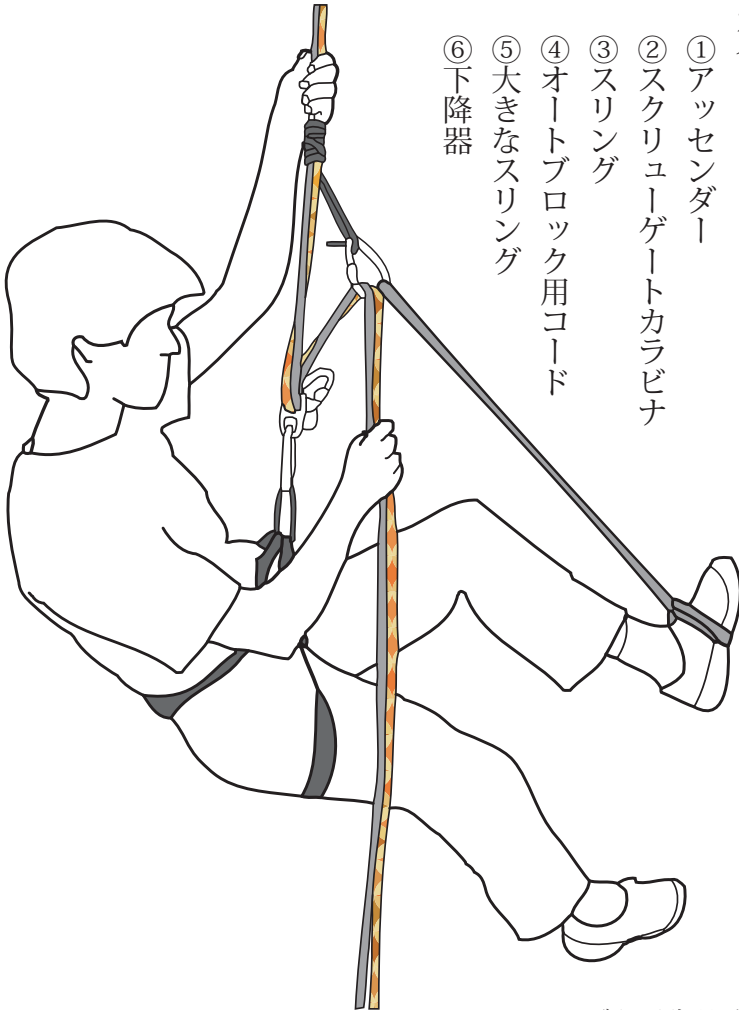
《状況》

ガイドが先に下降し、下の支点に到着後にクライアアントが下降してきたが途中でスタックしてしまっただ状態です。

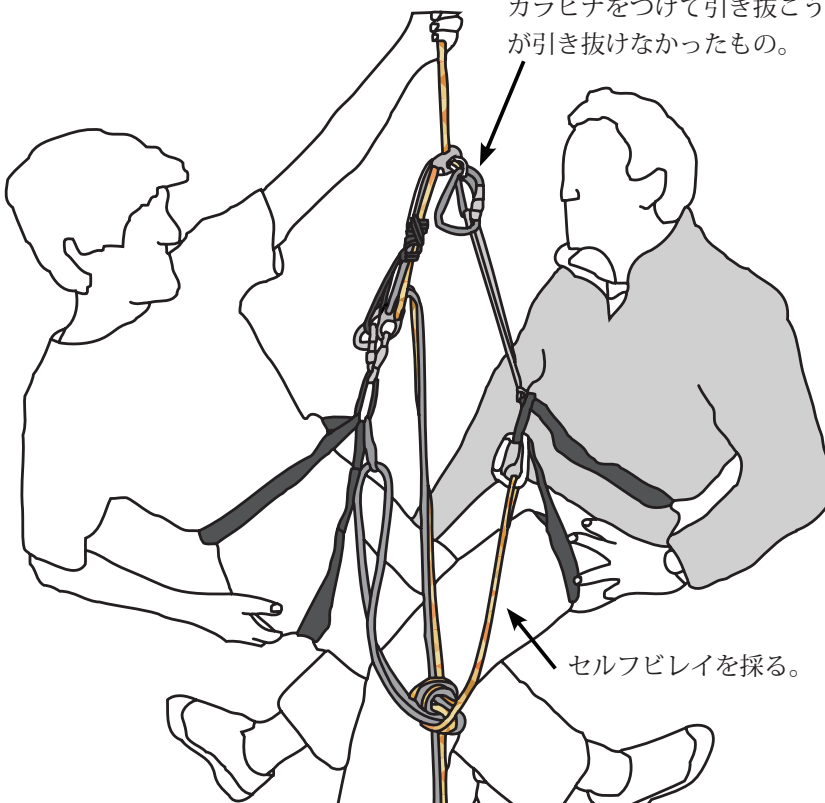
《用具》

クライアアント
下降器+オートブロック（バックアップ）
ガイド、

- ① アッセンダー
- ② スクリューゲートカラビナ
- ③ スリング
- ④ オートブロック用コード
- ⑤ 大きなスリング
- ⑥ 下降器



スリングを下降器が巻き込んでスタックしたという状態。カラビナをつけて引き抜こうとしたが引き抜けなかったもの。



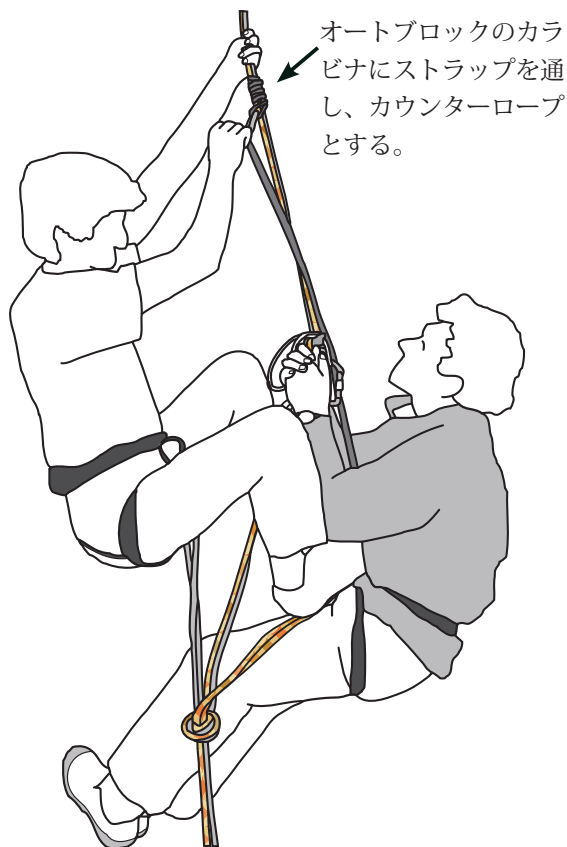
セルフビレイを採る。

●ガイドは2本のロープにアッセンダーをセットします。（安全環付きカラビナ2枚が必須です。）

●アッセンダーの上にオートブロックの結びをセットします。大きなストラップをそこにセットし足で踏み込み用とします。

●クライアアントに近付いたら、メインロープ2本でループを作り、ガイドとクライアアント各々に連結し安全を確保します。

そして、クライアアントの下降器の上にオートブロックを移し変えます。（ガイドはこの時、自分のプレートにぶら下がっています。）



オートブロックのカラビナにストラップを通して、カウンターロープとする。

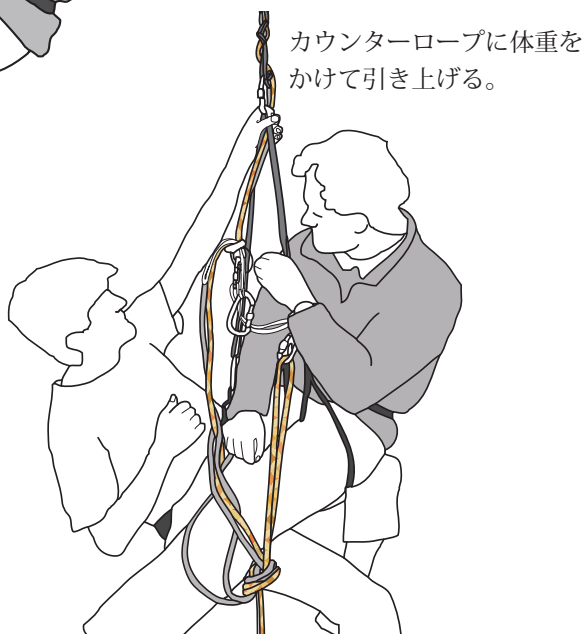
この際にガイドのストッパーが体の下になることに注意する。つまり、力技でカウンターロープをガイドに連結する。もちろん力技でなく、行うことも出来るが余分な操作を省くためENSAではこの方法を紹介している。

《解説》

オートブロックのカラビナを使用したカウンターロープのセットです。

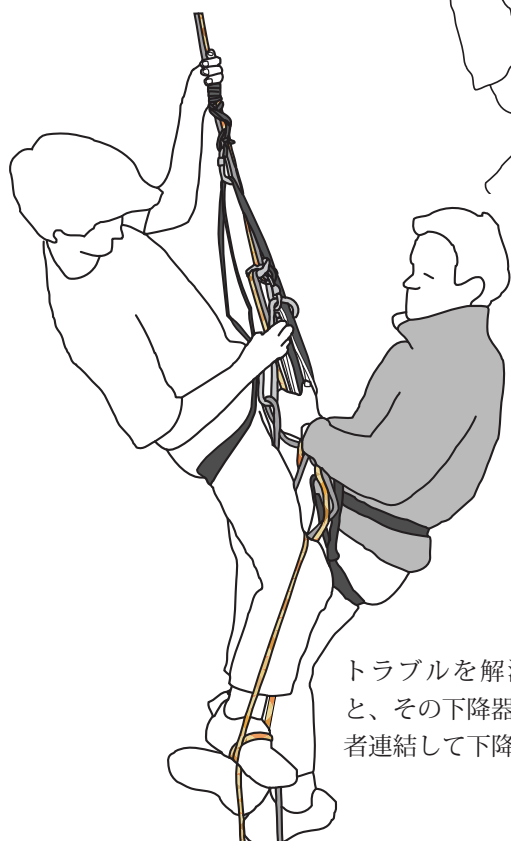
●クライアンのハーネスに大きなストラップの端を連結します。
 ●そして、クライアンの向き合って立ちこみ、オートブロックのカラビナを通してガイドにストラップのもう一方を連結します。

緩んだ段階でトラブルを解消する。



カウンターロープに体重をかけて引き上げる。

●ガイドが体重を掛けてクライアンの下に潜り込むようにしてもちあげます。
 ●ガイドは下降器を外します。
 ●つづいてクライアンのトラブルを解消し下降器を外します。



トラブルを解消したあと、その下降器具に救助者連結して下降する。

この方式は、ENSAのインストラクションそのままであるが、AGSJ方式と若干違いがあるため掲載する。AGSJ方式については、4章レスキューマニュアルを参照されたい。

《解説》

●制動効果の高い下降器のセットを行い、バックアップのオートブロックをセットし、ガイドクライアンとも連結します。
 ●再度立ちこんで、カウンターロープ、オートブロックを解放します。
 ●支点に向かってガイドクライアンと一緒に下降します。